

## 令和4年度 学校関係者評価実施用紙

学校番号	100	学校名	沼津市立沼津高等学校・中部	記載者	小林 浩明
------	-----	-----	---------------	-----	-------

評価	基準	評価	基準
A	十分目標を達成することができた	C	あまり目標を達成することができなかった
B	おおむね目標を達成することができた	D	ほとんど目標を達成することができなかった

## 本年度の取組

取組目標	成果目標	自己評価	関係者評価	意見
地域や保護者との連携協力による安全安心な学校づくり	・交通事故前年比10%減 昨年16件→11件	B	B	前年より減少、一層の努力が必要。
	・SNS問題等への計画的指導といじめの撲滅 メディアポリシーの周知 SNSに関する講話→情報モラル講話、調査	A	A	講話等とおして指導の徹底がはかられている。
	・防災講座の開催 各学年で実施 ・第五校区防災連絡協議会の開催と地域防災への貢献向上 地区防災参加率80%以上 →中止多数	B	B	地区の防災訓練等が中止になることが多く、十分に行えなかった。
	・体罰・ネットトラブル0件 →0件	A	A	
自ら学び自ら進路を切り拓く生徒の育成	・中高6年間の進路シラバスの活用と改定 ・生徒の進路希望に応じたキャリアガイダンス、進路講座の実施 →新講座開設	A	A	新講座を開設するなど、中高一貫の視点でシラバス・ガイダンスの充実が進められている。
	・外部模試とICTを活用した学習課題の把握 ・学力向上委員会の分析結果の活用	B	A	課題把握と分析が適切である
	・新教育課程の編成 G理コース新設 ・中学校の評価方法を生かす高校観点別評価の研究 →研修年間3回	A	A	中高一貫を踏まえた新教育課程の編成が行われている。
	・カリキュラム・マネジメントの推進 研修年間2回 →研修年間5回 ・個別最適化学習プロジェクトチームを立ち上げ検証を行った。	A	A	個別最適化学習プロジェクトの検証の成果が期待される。
	・学校行事の教育効果の検証と精選 修学旅行満足度→高校78% 中部98%	B	B	高校の修学旅行の満足度が高まることが望まれる。
	・国公立大推薦対策、多面的総合評価への対応・英語外部検定試験等に対する対策	B	B	一層の検討が望まれる。
	・AL授業の実施 授業への取入れ割合100% ・県内市立高校合同研修20人以上→7人参加 先進校視察5校以上 未実施	B	A	先進校視察の未実施が残念である。
	文武芸の三道鼎立で人間力を磨くらしい生徒の育成	・制服を正しく着こなし、さわやかな挨拶、清掃ができる生徒の育成 挨拶清掃がしっかりできる 68.5%→77.1% ・主体的な生徒会活動への支援と生徒会行事 学園祭生徒満足度70% →99.6% ・中高校則の見直し 指導内規の見直し完了 ・生徒心得改訂版配布 ・部活動、生徒会、ボランティア活動、進路指導等を通してやり抜く力を身につける。	A	A

様式第4号

取組目標	成果目標	自己評価	関係者評価	意見
	<ul style="list-style-type: none"> <li>部活動退部率 10%以下 →<b>転部6名のみ</b> 共通テスト受験者 70% →<b>80.9%</b></li> <li>部活動の効率的な指導法の研究 部活動ガイドラインの周知と見直し 部活動休日 週1回 平日1回の実施</li> <li>地域貢献活動の奨励 一部活一貢献活動 全校生徒によるボランティア活動の実施 外部主催ボランティア参加者数 前年度比 10%増 →<b>2部活動35人が参加</b></li> </ul>	A	A	探究冊子の作成など地域貢献活動として高く評価できる。
	<ul style="list-style-type: none"> <li>読書指導と探究活動を支える本のレファレンス ビブリオバトル校内大会実施</li> </ul>	B	A	ビブリオバトルでの入賞は読書指導の成果。
持続可能な沼津市の未来を創生するグローバル人材の育成	<ul style="list-style-type: none"> <li>沼津市の企業の方への職業インタビュー</li> <li><b>Uターン、移住者増のための方策を探究</b></li> </ul>	A	A	
	<ul style="list-style-type: none"> <li>医療看護講座の充実・医療関連施設等見学・介護体験 →リハビリ職講座等追加</li> </ul>	B	B	
	<ul style="list-style-type: none"> <li>エンパワーメントプログラム→未実施</li> <li>国際理解講座の開催年間2回 →長崎修学旅行、授業内で実施</li> <li>海外姉妹校提携、オンライン英会話学習の導入研究→継続研究</li> </ul>	B	B	
中高一貫の強みを生かした学校改革・働き方改革の推進	<ul style="list-style-type: none"> <li>自尊感情を高める指導の研究 振り返りシート カウンセリング室だより年10回 →10回</li> <li>不登校対策 できたことノートの実践と研究</li> <li>6年間で生徒を育てるための教員の人事交流、研修等の実施</li> <li>シニアティーチャー →<b>生徒が主体的に実施</b></li> <li>高校模擬授業、高校教員の面接の実施</li> <li>難関大対策講座の充実 →個別指導実施</li> <li>ドリームマップの活用</li> <li>P T A 地区会員の絆の強化 エンカウンター年2回 →集会中止</li> </ul>	B	A	現況を突破する個別指導の取組を編み出してほしい。
	<ul style="list-style-type: none"> <li>P T A 役員会の効率的運営</li> <li>P T A 地区会の質的改善</li> </ul>	B	B	カウンセリング便り、人権便りの作成など、積極的に行われている。
	<ul style="list-style-type: none"> <li>本校からの情報発信の充実 毎月、本校行事に関する記事をローカル紙への提供 →H P 閲覧者数増</li> <li>地域及び小中学校への情報提供 市沼新聞、A L T 通信 →年間2回発行</li> </ul>	B	A	ローカル誌への積極的な記事提供など、H P 閲覧数が増加している。 学校の良さをもっとP Rしてほしい。
	<ul style="list-style-type: none"> <li>割振、振替の徹底 概ねできている</li> <li>夏期休業中の休暇取得促進日の設定</li> <li>部活動休日週1日完全実施 <b>休暇取得促進日の取得100%</b></li> <li>体験入学の等の改善 <b>2日を1日にまとめた</b></li> </ul>	A	A	
	<ul style="list-style-type: none"> <li>定時退勤日の設定 <b>毎週月曜日に設定</b></li> </ul>	A	A	